



知ってる? オカネツ No.10



2. 10で紹介したMMRラインのほかに、製造2部では機種、機能別に8つのラインで生産活動をしています。それではその概要をご紹介します。

第3工場

第3工場はフロント(リア)アクスル専用工場です。

【SFライン】 ㈱ 夕塚殿より移管されたラインで、トラクタ(トラ)のフロントアクスルを製造しています。因みにSFのSはSAKAIの“S”、FはFRONT AXLEの“F”だそうです。このラインの特徴はMIX(混流)生産で、それぞれ別のラインです。



1台生産するために必要な部品や仕掛品がAGVに載って流れていきます。

㈱ 夕塚殿からの受注データをもとに組立順が決められ、使用部品のピッキングもデータ管理されたラジピッキングになっています。



「4月1日の5番目に使用するアクスルのバレットです」という意味だそうです。

組立後は㈱ 夕塚殿で使用される順番にコテナに並べられ、使用日付、を看板に記入し、出荷されます。

【BXライン】 オカネツオリジナルのラインです。当初、BX2200を製造していたことからこのライン名となりました。現在はKMA殿トラクタC16(BX2200後継機)、MAM殿トラクタP90のフロントアクスルなどを製造しています。



MAM殿向け
トラクタとF/A

KMA殿向け
トラクタとF/A

【RTVライン】 KMA殿のRV車RTV900のフロントアクスル専用のラインです。車輪取付部のナックルを組立、ナックルを塗装、フロントアクスル組立という行程を経て完成します。



L/Rを合わせてフロントアクスル完成!

第2工場

第2工場は各種トランスミッションを組立てている工場です。

【GRライン】 KMA殿向HST(無段変速機)付GR系(GR2100, 1600)のトランスミッションをメインに組立てているラインです。GRはKMA殿の乗用EP(草刈機)です。



【GZDライン】 ㈱ 夕塚殿のGZD系(GZD15)のトランスミッションを組立てています。2~3人で1個流し製産で製造しています。GZDは㈱ 夕塚殿国内向け乗用EPです。



【デフグループ】 デファレンシャルユニット、シャフトクラッチ、油圧回路(PTO)を単生産で製造しています。単生産とは、1人でピッキングから組立、検査までを行う生産方式です。作業台は屋台式で屋台のように台の周りに必要な部品や工具が揃っています。

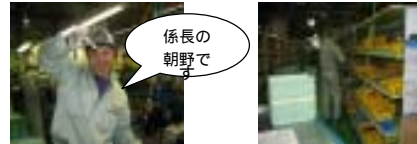


デファレンシャルユニット

シャフトクラッチ

屋台生産

【汎用ミッションライン】 40数種類の型式を1個流し製産で製造しています。この日はF社向のリアミッションを製造していました。



係長の朝野で

トランスミッションとは、動力伝達装置のひとつで動力伝達の回転数(回転の場合)、速度を変換する装置。一方の入力からの力をもう一方の軸の回転数の比や回転方向を(人力や自動で)操作し、トルクや回転数を変化させる役割を担う。日本語では変速機または変速機構という。英国英語ではギアボックス(Gearbox)といわれることも多い。

第1工場

第1工場は管理機の完成品を製造しています。

【MMRライン】 9で詳しくご紹介しましたので、ここでは省略します。

【機装ライン】 旧機ラインを改造し、製造2部が今、力を入れて立ち上げようとしているのがこのラインです。管理機の機種が増えたことにより、従来のMMRラインではカバー切れなくなったために昨年からは試作的に始めています。例えばMAM殿の小型管理機MMシリーズのロータリー有・無もこのラインでは同期化生産が可能です。(MMRラインで生産するとバッチ生産となるそうです。)このほか、自社開発製品CG系をベースにした製品(PFM80など)もこのラインで生産されます。



MM707(ロータリーなし)

PFM80

洗浄について、ミッションやアクスル部は僅かなゴミ(切削油中の細粉)でもNGとなります。そのため、鋳物やギヤ、シャフト類は全て洗浄にかけられます。



汎用洗浄機



汎用洗浄機では洗浄しきれない部分を個別に洗浄します。